

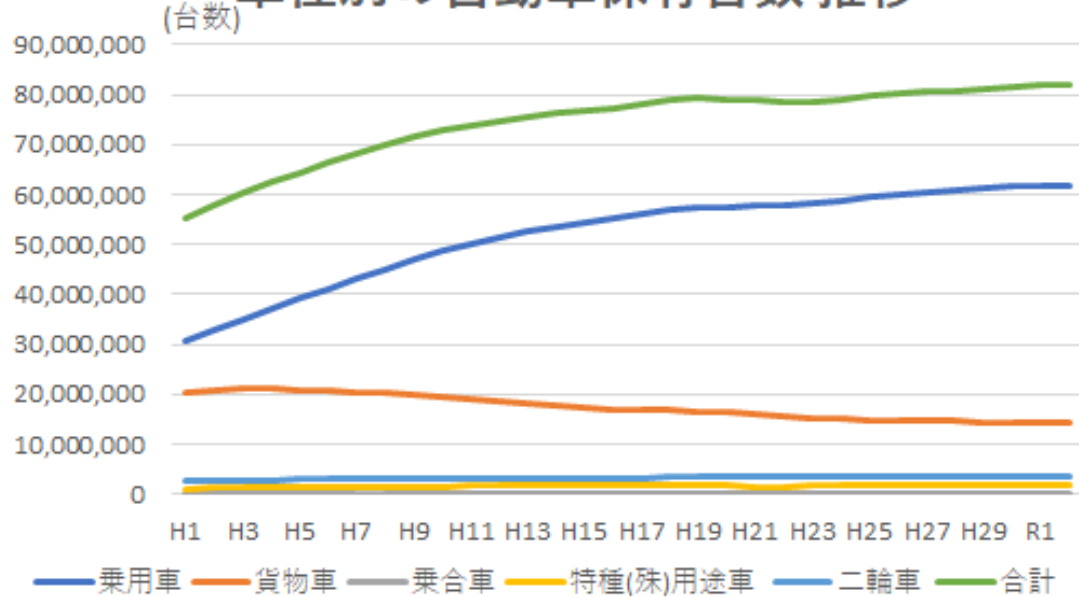
10年後の歩行とは？



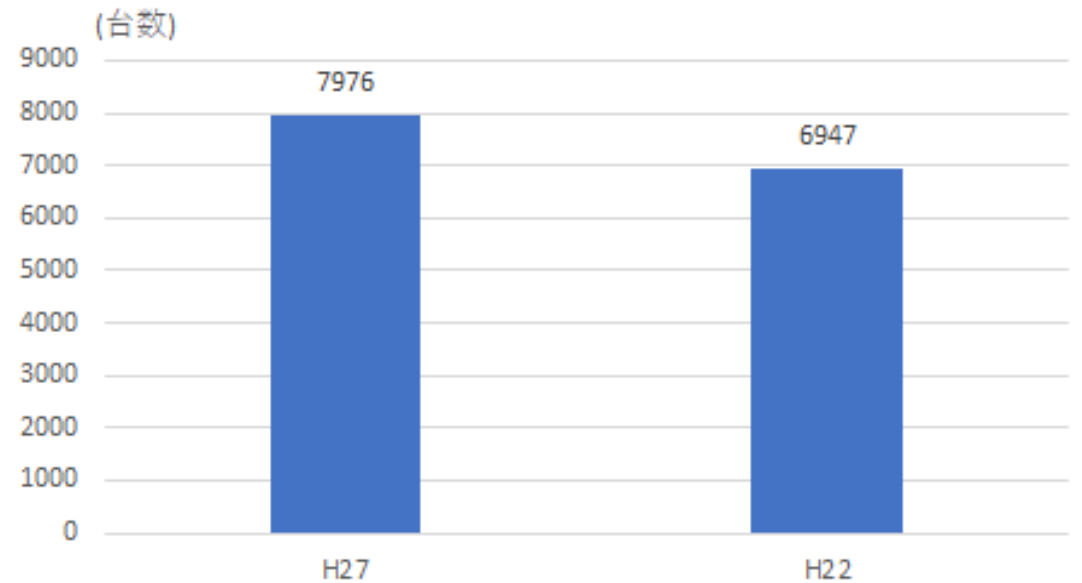
- 車両が多くなる
- 道幅が狭い
- 見通しが悪くなる
- 周囲の音を聞かない人が増加
→イヤホンの装着
- 電気自動車が普及するため車両からの音が小さくなる

現在までの自動車の使用状況

車種別の自動車保有台数 推移



全国の一般道路1日の平均交通量



乗用車の保有が圧倒的に多く、交通量は増加している

→ **まだ多くの人たちが自動車を使用する**

引用

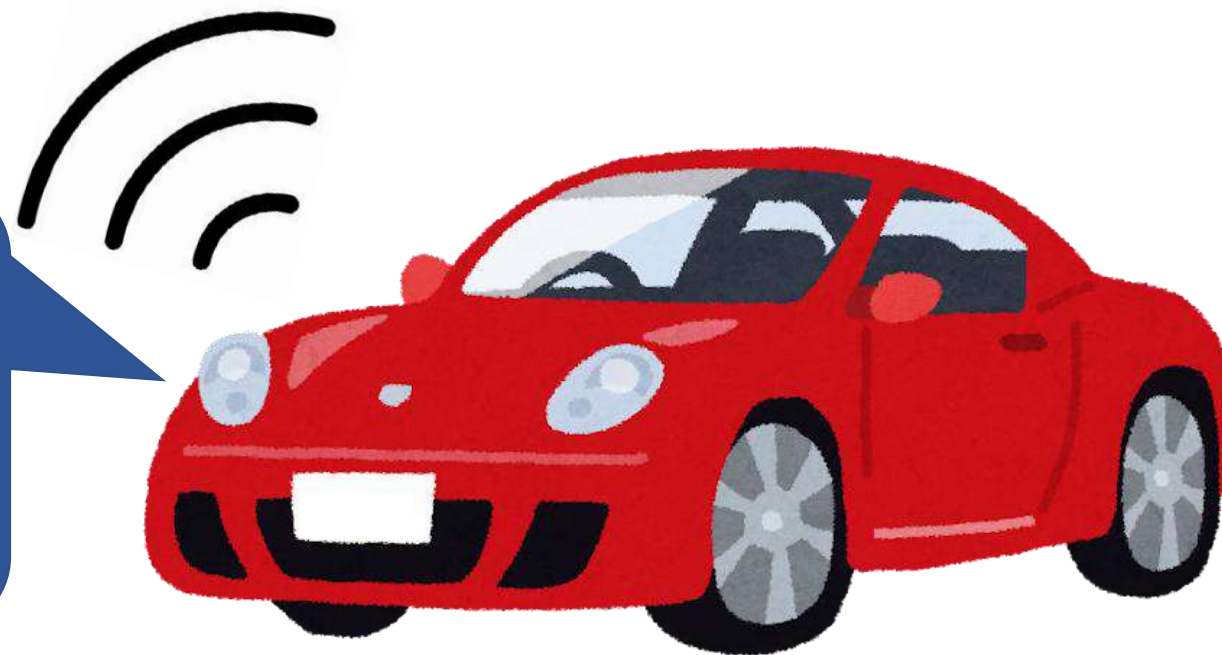
・自動車検査登録情報協会 我が国の自動車保有台数
URL <https://www.airia.or.jp/publish/statistics/trend.html>

・国土交通省 一般交通量調査
URL <https://www.mlit.go.jp/road/census/h27/index.html>
<https://www.mlit.go.jp/road/census/h22-1/index.html>



車両が歩行者の半径50m内(制動距離)に入ってきたら振動する。近づくたびに振動が強くなる。

車両に小型のセンサーが搭載されている。このセンサーとブレスレットのセンサーが反応するようになっている。



【充電について】

- 保護者の管理下で使用することで、子どもと大人で充電を意識することができる
- 充電が一定値を下回った場合、保護者のスマートフォンに通知が入るように機能を搭載している

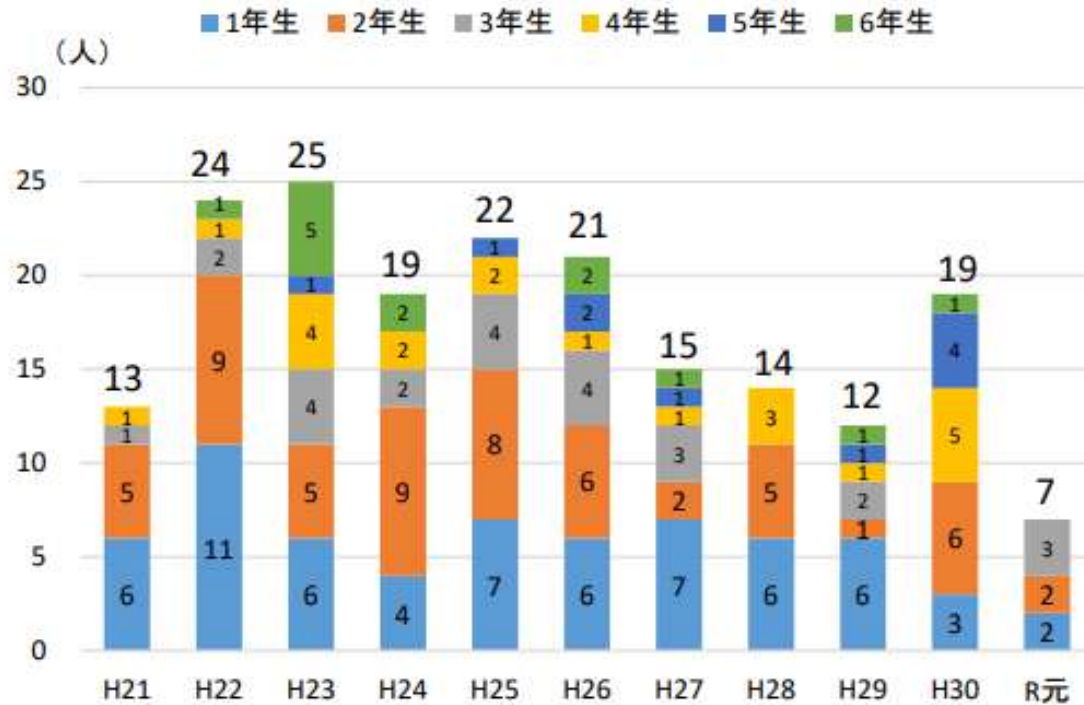
【大通りモードについて】

- GPSで位置情報を得て、自動で大通りモードに切り替わるようにする
- 大通りモードになると、振動が停止する



対象年齢層

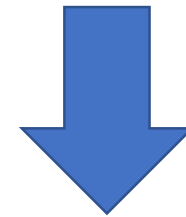
小学生の学年別歩行中死者数の推移



出典：警察庁ウェブサイト

(<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/bunseki/kodomo/020324youjijidou.pdf>)

- 対象：**3歳から10歳以下**
(前操作期～具体的操作期)
- 3歳から10歳→自分視点での考える、自己中心性の傾向がある
- 11,12歳ぐらい→注意の意識が外へ向く、脱中心化を得る



3歳から10歳は周囲へ注意を向けられないため、周囲へ注意を向けられている小学5年生（11歳）あたりから事故件数が減少している

メリット

- 難しい機能がないため、子どもにも安心して持たせることができる
- 軽量であるため、持ち運びが便利
- 充電式のため繰り返し使用可能
- 装飾部分が廃プラスチックを原材料→環境に優しい！！
- バリエーションが豊富(アングレット、リストバンド)

